

ふきのとう

日々、新しい命が誕生する～産科の紹介～



助産師が出産をサポート



新しい命の「はじまり」



沐浴中
お母さんのお腹の中を思い出しているのかな？



沐浴後の着替え
新生児1人1人に丁寧に

お産

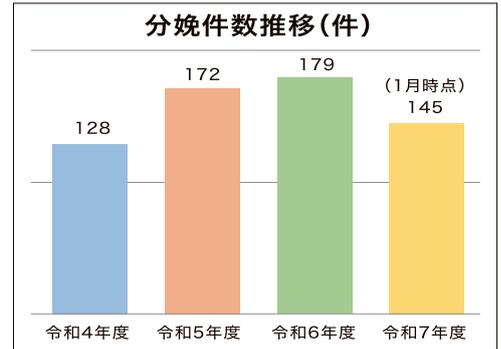
～新しい命の「はじまり」に伴走するということ～

産婦人科 産科長 佐藤 亘



「おめでとございまーす!」、分娩室に響く「おぎゃーっ!おぎゃーっ!」の産声と共に、私たちはこの言葉を贈ります。産科医として何度も立ち会ってきた光景ですが、一つとして同じお産はなく、そのたびに命の力強さに心が震えます。現在、社会全体で少子化が進み、生まれてくる子どもの数は少なくなっています。しかし、だからこそ「一つひとつの命」の重みは、かつてないほどに増していると私たちは感じています。

今この瞬間に誕生する一つの命は、ご家族にとっても、そしてこの社会の未来にとっても、かけがえのない「希望」そのものなのです。産科の最大の魅力は、医療において稀な「新しい人生のスタート」に直接関わることです。病気を治すだけでなく、家族の絆が生まれる、その瞬間に寄り添い、その後の未来を支える。私たちは、お預かりする一組一組の母子の物語を、何よりも大切に、丁寧に守り抜きたいと考えています。



チームで支える「安心の輪」

もちろん、お産は常に安全とは限りません。だからこそ、私たち産科医や助産師といった専門チームが存在します。助産師によるきめ細やかなケアや沐浴指導も、すべては新しい家族が自信を持って最初の一步を踏み出すためのものです。最新の知見と技術、そして温かな手で、母子の安全を全力で守り抜きます。私たちは、単に医療を提供する「先生」ではなく、ご家族の大切な航海を支える「伴走者」でありたいと願っています。この街で新しい命が産声を上げ、大切に育まれていくこと。その奇跡のような瞬間に立ち会える喜びを胸に、私たちは今日も皆様のご来院を待っています。少子化という時代だからこそ、より一層の真心を込めて。あなたの「はじまり」の物語を一緒に紡いでいきましょう。



スタッフ一同、お待ちしております!



当院では、緊急時には小児科医・麻酔科医も24時間体制で対応しています。また、合併症妊娠に対しても内科などと連携して妊娠・分娩・産褥期が順調に経過されるように支援しています。

当院での出産をご希望される方は、予約センターへご連絡をお願いします。

電話番号 0570-01-4171のあとに「1」を押してください。その後、「5」を押してください。

詳しくは、右記QRコードを読み取りご確認ください。



(分娩予約、受診方法)

産科の取組みについて

皆さんの妊娠・出産・育児の時間が喜びと感動に満ちあふれた毎日になりますように、私たちは新しい命の誕生を応援します。陣痛から出産までを同じお部屋でゆっくり過ごすことができるLDR室を常設しております。陣痛室から分娩室への移動の負担が少なく、個室のためプライバシーを保つことができ、リラックスした環境でお産に臨むことができます。

お産後には、栄養満点なお祝い膳や授乳食のおやつを提供しております。また、赤ちゃんとの写真と足形カードを記念としてプレゼントしており、希望される方にはアロマの足浴も・・・大変好評いただいております。



華やかなお祝い膳



授乳食のおやつ
一例 [・チョコレート蒸しパン]
[・ローズヒップティー]



沐浴指導の実施



(表面)



はじめての家族写真、足形のプレゼント♪

(裏面)

2025年度満足度調査

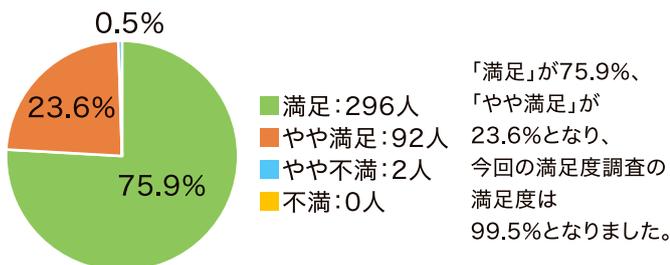
入院

実施期間：2025年
11月4日(火)～12月3日(水)

〈ご意見〉

- 今回出産で初めて利用しましたがとても良かったです!!LDRが特に良かった面会時間、夕方にもあればなーと…(夫が仕事の為面会できなかった)
- ➡ 季節を問わず感染症が流行していることから、現在の運用としてきましたが、今後、感染状況に応じた改善策を院内にて検討してまいりたいと思います。
- 大変お世話になり、ありがとうございました。心あたりの看護で落ち着いた入院生活を送ることができました。本当にありがとうございました。

【全体的に当院を利用して】



〈まとめ〉

例年、多くのご意見をいただいております待ち時間解消のため、医療費後払いシステムの導入、再来受付時の整理券発行等の対応をいたしました。今後、患者さんからのご意見を反映し、改善に努めていきたいと思っております。ご理解ご協力ありがとうございました。

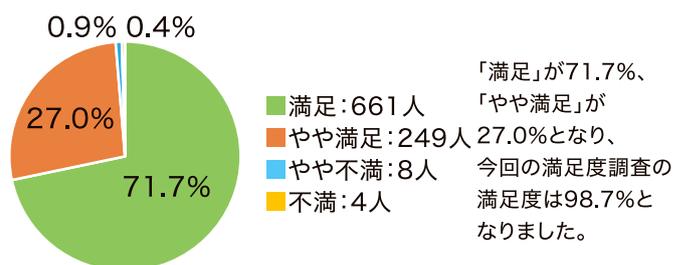
外来

実施期間：2025年
11月19日(水)～11月26日(水)平日5日間

〈ご意見〉

- 診察後の会計が出来るまでの時間がもう少し短縮なると、もっと良いと思います。
- ➡ ご不便をおかけすみません。待ち時間の解消のため、医療費後払いサービスの導入をしております。ご利用をご検討いただければと思います。
- 診療順番、検査順番 番号表示され待ち時間、わかり易くなりました。

【全体的に当院を利用して】



身体抑制の最小化を目指して

患者サポートセンター 副参事 川越 智

第62回全国自治体病院学会で『身体抑制最小化に向けた看護部6年間の取り組み』を発表し、昨年10月同学会の大会で最優秀演題賞を受賞させていただきました。

身体抑制とは、紐状のベルトや手袋を用いて患者さんの行動の自由を制限する行為です。転倒防止や医療チューブの抜去防止などを目的に行われますが、原則禁止されており、生命の危険がある場合などに限り、許容されています。しかし、筋力低下や日常生活行動の低下、褥瘡の発生、せん妄の発症に影響を及ぼすことから、医療や介護の現場では大きな問題となっています。

当院では、2018年から身体抑制に関する情報の集積と分析を行い、スタッフ教育、身体抑制実施の適正性の向上等を継続的に実施してきました。長年、患者さんの人権、家族の思いを尊重し、看護師のジレンマや身体抑制以外の方法を選択する不安に寄り添いながら取り組んできた結果、これまでに身体抑制の実施率が低下しています。今後は転倒転落や褥瘡発生率の低下への影響を明らかにし、患者さんが安心安全に病院を利用できるように貢献していきたいと考えています。



高齢患者さんへの優しい透析

臨床工学センター 臨床工学技士 鎌田雄大

「透析」という言葉を耳にしたことがある人は多いと思いますが、その内容を説明できる人は少ないのではないのでしょうか。

透析とは、腎機能が低下して尿を十分に排出できなくなった人に代わり、体内にたまった老廃物や余分な水分を「ダイアライザー」と呼ばれる濾過膜を用いて取り除き、だるさや呼吸苦などの症状を改善する治療です。

昨年12月に行われた秋田県腎不全研究会では、高齢患者さん(65歳以上)を対象に、秋田県内ではあまり使用されていない種類のダイアライザーを用いた治療について発表しました。治療の過程で血圧や栄養状態が低下していた高齢患者さんに、どのような改善がみられたかを検討しました。

その結果、改善がみられた人もいれば、変化がなかった人もおり、すべての患者様に必ず効果があるというものではありませんでした。しかし、研究開始から約1年と期間が短いため、今後もデータを蓄積し、評価を続けていく予定です。

今回の受賞を励みに、今後も患者一人ひとりに、より良い透析医療を提供できるよう研鑽を重ねていきます。



術後疼痛管理チームは、手術を受けられた患者さんが、できるだけ痛みを我慢せず、安心して回復の一步を踏み出せるよう支援するチームです。術後の痛みは仕方のないものと思われがちですが、強い痛みが続くと体を動かすことがつらくなったりするなど、回復の妨げになることがあります。適切に痛みを和らげることは、早期離床や合併症予防にもつながる大切な医療の一つです。痛みの程度や変化を評価し、その時々に応じた対応を行うことを心がけています。

現在のチームは、麻酔科医、看護師、薬剤師で構成され、共通の方針に基づいた疼痛管理を、それぞれの専門性を生かしながら進めています。実際の診療現場では、日々患者さんのそばで寄り添っている病棟看護師の皆さんと連携し、情報を共有しながらチームとして取り組んでいます。患者さんや現場の声を大切にし、小さな変化にも気づける体制づくりを進めています。今後も多職種で力を合わせ、患者さんにやさしい術後疼痛管理を目指していきます。



登録医のご紹介

やばせ耳鼻咽喉・嚥下クリニック

院長 高橋 雅史

◆診療科目：耳鼻科一般、嚥下外来、言語外来、補聴器外来

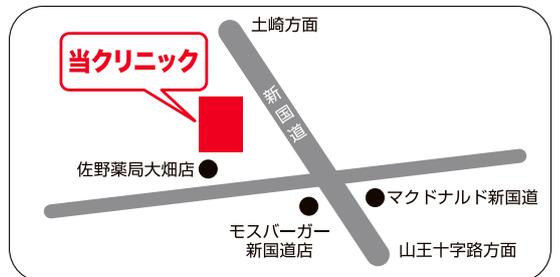


院長 高橋 雅史

2024年10月1日に秋田市八橋地区に開業しました、やばせ耳鼻咽喉・嚥下クリニック院長の高橋 雅史(たかはし まさふみ)と申します。生まれは秋田市で小中高と県南の湯沢市で過ごしました。県南の湯沢高校を卒業後、秋田大学に進学し、30期生として2005年に卒業しました。これまでの主な常勤勤務先は研修医時代を含めて雄勝中央病院、平鹿総合病院、大曲厚生医療センター、秋田大学医学部附属病院、市立秋田総合病院、秋田赤十字病院などです。中でも市立秋田総合病院では10年以上勤務させていただき大変お世話になりました。

当クリニックは耳鼻咽喉科診療一般を広く対応していますが特に嚥下障害診療について力を入れておりますので少しご紹介させていただきます。当院は全国でも珍しい言語聴覚士が常勤している耳鼻咽喉科クリニックになります。患者さんの食事状況確認、嚥下機能評価、食事形態検討、リハビリテーションなど対応しております。リハビリ関連機器も取り揃え、ジェントルスティム(干渉波刺激装置)、バイタルスティム(電気低周波治療器)といった医療機器によるリハビリテーションも行っております。また食事指導については管理栄養士による指導も行っておりますのでお気軽に相談ください。

当クリニックでは嚥下診療の他にもう一つ力を入れて行っているものがあります。補聴器外来です。以前、秋田県福祉相談センターでは補聴器技能者と耳鼻咽喉科医師にて補聴器相談事業が行われていましたが現在は残念ながら事業は終了しています。補聴器装用について相談できる場所が減少し、補聴器技能者のいない店舗での補聴器購入トラブルがあとをたちません。当クリニックでは補聴器適合検査を行える機器を導入し、自身も補聴器適合判定医師研修会を修了してまいりましたので少しでも地域の皆様の耳に関するお悩みをサポートできればと考えております。新規購入希望はもちろんのこと現在補聴器使用中の方であまり効果が得られていない方なども調整致しますのでご紹介頂けたらと存じます。今後ともどうぞよろしく願い申し上げます。



診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~12:00	●	●	●	●	●	●
14:30~18:00	●	●	—	●	●	—

★土曜は9:00~13:00診療

医療費後払いシステム(ラク〜だ)の導入について

当院では、11月より「医療費後払いシステム」の運用を開始いたしました。本システムは、事前に登録したクレジットカードから後日自動的に決済される仕組みで、患者さんは診察終了後に会計を待たずにご帰宅いただけます。

後払い登録患者のメリットは以下のとおりです。

- (1) 診察後の会計待ち時間がなくなります。
- (2) 処方箋や予約票を受け取ってそのまま帰宅が可能です。
- (3) 自動精算機に並ぶ時間がなくなります。

ご利用には、再来受付機や各受付に設置しているリーフレットのQRコードから事前登録が必要です。



(後払いシステム)

再来受付時の整理券発行

10月22日より、平日に限り、午前7時から混雑が緩和される8時過ぎまで再来受付する患者さんに整理券を発券し、受付開始まで椅子に座って待っていただく運用に変更しました。8時になりましたら係が番号順にお呼びしますので、整理券を渡して受付するようお願いいたします。

スマートフォンでのマイナ保険証利用について

12月1日より、スマートフォンのマイナ保険証で保険確認ができるようになりました。受付に設置された顔認証付きカードリーダーを操作し、本人認証を行った後、スマートフォンをスマホ用の汎用カードリーダーにかざして利用できます。

※事前にマイナポータルアプリからスマートフォンにマイナンバーの登録が必要です。



日本医療機能評価機構より、 病院機能評価(3rdG:Ver.3.0)認定を いただきました

当院では、公益財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価を受審し、一般病院、精神科の2つの認定をいただきました。患者さんが適切な医療を安心して受けられるように、第三者機関である公益財団法人日本医療機能評価機構が、医療機関の医療の質や病院の機能を専門的見地から中立的・客観的な視点により評価したものです。

今後も継続して、すべての患者さんに安心、安全な医療を提供できるよう、より良い病院づくりを目指していきたいと思っております。



認定証 (一般病院 2)



認定証 (精神科病院)

当院公式SNSはじめました！

当院からのお知らせ、採用情報、日々の取組等の情報発信を行いますので、よろしくお祈いします。

※コメント・DMにはお返事できません。



akitacityhp_official



akitacityhp_0

アカウント名:市立秋田総合病院【公式】

編集・発行/市立秋田総合病院 令和8年3月25日発行

〒010-0933 秋田県秋田市元松丘町4番30号 ナビダイヤル:0570-01-4171・Fax:018-866-7026

E-mail:ro-homn@akita-city-hospital.jp <https://www.akita-city-hospital.jp/>



(ホームページ)